FREE
ご自由に お持ちください。

No.850
2024 July
7

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

G−クレジット認証証等交付式

（G−クレジットの森・応援パートナー）



●詳細は４ページをご覧ください

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（8月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等	場　所 申込（問合せ）先／TEL
8月6日（火）	**狩猟免許試験** **（わな猟）**	●狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：7/9～7/23 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	中濃総合庁舎　大会議室 各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231
8月3日（土）	**ぎふ木遊館** **サマーフェスタ**	●内容：特別企画として当館名誉館長の竹下景子氏と元みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー吉成信夫氏のクロストーク＆朗読劇のほか、フェスタ限定メニュー等を体験できます。（事前予約制） ●時間：13：00～18：30 ※詳細及び予約はぎふ木遊館ホームページをご参照ください。	ぎふ木遊館 （岐阜市学園町2-33） ぎふ木遊館 TEL：058-215-1515



目次 Contents

イベントカレンダー（一般向け）……2
緑化功労者表彰……3
G－クレジット（第1回）認証証等交付式を開催しました……4
地域を守り、未来を築く　岐阜県県営林J－クレジット……5
企業との協働による森林づくり……6
木材産業DXアドバイザー派遣事業のご紹介……6
多発する山地災害への備え……7
令和6年度山地災害防止標語及び写真コンクール……7
交流派遣を終えて……8
地域の人　揖斐地域の新しい仲間の紹介……10
親子環境学習　脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー……11
山の歳時記（227）　キハダ……12
山のおじゃまもし（396）……13
ぎふ木遊館通信……14
morinos　プログラム紹介!!……15
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"（3）……16
森林と人を活かす知恵（138）
地域材の可能性を広げる、新しい製材、乾燥、利用モデルの提案……17
木の香るぎふの施設（136）　TAKUMI×COWCOW……18
研究コーナー　ドローンで忌避剤散布はできるのか？……19
普及コーナー　油圧式集材機って使えるの？……20
森林技術開発・支援センター　きのこ通信（5）……21
国有林の現場から（93）　国有林への入林について……22
林業者向けお知らせ……23
市況……24



緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状を伝達・贈呈しました

6月6日（木）に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第１３回定時総会の席上で、水野正敏会長（県議会議長）から次の方々に表彰状並びに感謝状を伝達・贈呈しました。

なお、令和５年度の「緑の募金」は感謝状贈呈者をはじめ多くの県民の皆様方のあたたかいご支援により、総額54,042,444円の募金がありました。改めまして皆様に感謝を申し上げますと共に、今後もご協力よろしくお願いします。

また、表彰を受けられた皆様には、これからも地域の森林づくりや緑化活動、森林環境教育に益々ご活躍下さい。

岐阜県緑化推進委員会会長表彰

ブラザー工業株式会社（名古屋市）

ひだまりほーむグループ株式会社鷲見製材（岐阜市）

「緑の募金」国土緑化推進機構理事長感謝状（50万円以上の寄付者）

株式会社河合寿司（大垣市）

「緑の募金」岐阜県緑化推進委員会会長感謝状（10万円以上の寄付者）

マックスバリュ東海株式会社（浜松市）

イオンビッグ株式会社（名古屋市）

株式会社ＮＴＴドコモ東海支社（名古屋市）

株式会社平和堂（彦根市）

ダイドードリンコ株式会社（大阪市）

株式会社十六フィナンシャルグループ（岐阜市）

中部事務機株式会社（岐阜市）

岐阜トヨペット株式会社（岐南町）

株式会社大垣共立銀行（大垣市）

株式会社河合寿司（大垣市）

西濃緑化推進協議会（大垣市）

（敬称略）

≪緑化功労者表彰≫



左からブラザー工業（株）、水野会長、
ひだまりほーむグループ（株）鷲見製材

≪「緑の募金」感謝状≫



左からダイドードリンコ（株）、中部事務機（株）、水野会長、
岐阜トヨペット（株）、（株）大垣共立銀行

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事　田中 敏隆】

異なります。県は今後も、両制度を推進していきます。

Gークレジット（第1回）認証証等交付式を開催しました



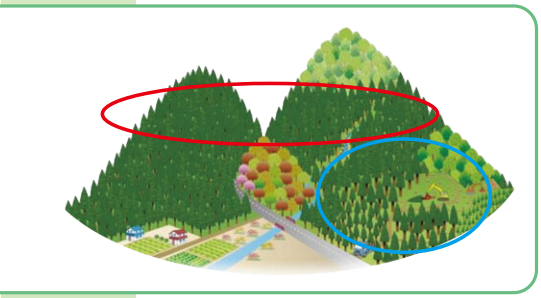
県では、健全で豊かな森林づくりを進めるとともに、「脱炭素社会ぎふ」を実現するため、令和5年11月から国のJークレジット制度の対象とならない、適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を「クレジット」として県が認証する、本県独自のGークレジット制度を運用しています。

令和6年5月14日（火）に、初となるGークレジットの認証証を交付するとともに、Gークレジットの購入や普及啓発をとおして、県の森林づくりを応援していただける企業等に対し、「Gークレジットの森・応援パートナー」の登録証を交付しました。

まず、一昨年度に試行で取り組んだ中津川市と東白川村森林組合に、古田知事から認証証を交付しました。認証量は、中津川市が434t-CO2、東白川村森林組合が104t-CO2の合わせて538t-CO2となります。

つづいて、Gークレジットの森・応援パートナーを代表し、13者（購入部門6者、普及啓発部門7者）に登録証を交付しました（https://www.pref.gifu.lg.jp/page/354037.htmlからパートナーの一覧をご覧いただけます）。

交付式の最後には、Gークレジット制度の創設を提言された、県立森林文化アカデミーの涌井学長から「今！何故Gークレジットなのか？」と題して基調講演をしていただきました。







いよいよ、Gークレジット制度の本格的な運用が始まります。クレジットの取引を活発にしていくため、クレジットの創出量を増やしていくとともに、多くの企業等に購入していただけるようクレジットの活用方法の幅を広げてまいります。

Gークレジットの主な活用方法



（1）地域貢献

事業所や工場等の所在地域や、その上流域にある県内の森林づくりを応援

（2）カーボン・オフセット

事業活動や、会議・イベント開催で排出される温室効果ガスをオフセット

製造などの過程で排出される温室効果ガスをオフセットした製品やサービスの提供

（3）県地球温暖化防止及び気候変動適応基本条例（県温対条例）の報告

県温対条例に基づく温室効果ガス排出削減実績の報告

（4）県発注工事(※)の工事成績評定において評価

Gークレジットを5t-CO2以上購入し、地域の森林づくりに貢献した場合、「社会性等（地域への貢献等）」において評価

（※）令和6年4月1日以降に契約し、令和6年9月1日以降に完成検査を行う県（農政部、林政部、県土整備部及び都市建築部)が発注する工事

また、「Gークレジットの森・応援パートナー」は随時募集しています。パートナーになって岐阜県と一緒に健全で豊かな森林づくりを進めませんか。

【Gークレジット制度】

Gークレジット制度運営事務局

受付時間：平日（月～金）9:00～17:00　TEL：058-201-5112

E-mail：gcredit-gifu@g-moriren.co.jp　Webサイト：https://gcredit-gifu.jp

事務局Webサイト

【Gークレジットの森・応援パートナー制度】

森林活用推進課森林吸収源対策室緑化推進係

受付時間：平日（月～金）8:30～17:15　TEL：058-272-1111（内4349）

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

パートナー申請フォーム

地域を守り、未来を築く
岐阜県県営林J－クレジット

岐阜県県営林クレジットで、あなたの環境への一歩が未来をはぐくむ力になります。







クレジット対象森林のイメージ

Jークレジット（森林由来）の対象森林
（森林経営計画内）

Gークレジットの対象森林
（森林経営計画外）

Jークレジットとは―

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO_2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO_2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。
本制度は、国により運営されています。
岐阜県県営林Jークレジットは岐阜県の保有する森林において森林整備を行ったことによる二酸化炭素の吸収量をクレジット化し販売しています。

Jークレジットは何に使える?―

本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセット、地球温暖化対策の推進に関する法律の報告など様々な用途に活用できます。

利用方法の例

企業型

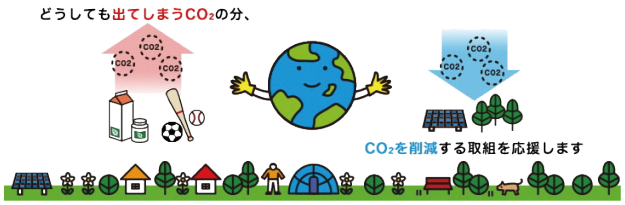
■製造業・運送業等の活動により排出されたCO_2のオフセット
■イベント等で排出されるCO_2をオフセット

消費者参加型

■カーボン・オフセット付き商品の購入
■旅行による移動によって出るCO_2の カーボン・オフセット付き旅券等の購入によるオフセット

カーボン・オフセットとは―

カーボン・オフセット（carbon　offset）とは、自分が出すCO_2をほかの人が削減したCO_2で排出量全体、または一部を穴埋めする制度です。



出典：Jークレジット事務局HP

県営林整備の増進。企業評価の向上―

県営林クレジットの販売収益は県営林の整備に役立てられ、企業による地元森林整備への寄与、環境への貢献などのPRがなされ、CSRへの効果も期待できます。

※CSRとは：企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方

- 販売単価　11,000円／t-CO_2（消費税及び地方消費税を含む）
- 販売期間　7月～9月
- 販売数量　最小販売単位は1t-CO_2で1t単位での販売
- 総　　量　700t-CO_2
- 購入申込　岐阜県公式ホームページより申請してください。

販売に関する問い合わせ先　岐阜県林政部森林保全課　　TEL. 058-272-8526　Eメール. c11519@pref.gifu.lg.jp
制度に関する問い合わせ先　Jークレジット事務局　https://japancredit.go.jp/

企業との協働による森林づくり

県では、県民協働による森林づくりの一環として、「企業との協働による森林づくり」を推進しています。
令和５年11月から新たに2件の森林づくり協定を締結しました。これにより、協定締結件数は３４件（うち4件は期間終了）となりました。

33 CJIMCの森

令和5年11月12日に、社会医療法人厚生会（美濃加茂市）、美濃加茂市及び岐阜県の3者で、森林づくり協定を締結しました。
職員による里山整備により、森林の有する山地災害防止や二酸化炭素の吸収などの機能の向上に寄与していきます。また、美濃加茂市「健康10か条」関連事業として実施し、職員の健康増進を図ります。



○**場　　所**：美濃加茂市山之上町地内（面積 3.50ha）
○**森の名称**：「CJIMCの森」
○**協定期間**：令和5年11月12日～令和10年3月31日（5年）
○**主な活動**：里山整備、歩道整備、地域交流事業

34 富士通グループの森

令和6年2月20日に、富士通Japan株式会社（神奈川県川崎市）、美濃加茂市及び岐阜県の3者で、森林づくり協定を締結しました。
里山整備、歩道開設等の森林整備活動を実施することにより、森林づくりに貢献するとともに、地域社会との交流を図ることにより地域の発展にも寄与します。



○**場　　所**：美濃加茂市山之上町地内（面積 5.42ha）
○**森の名称**：「富士通グループの森」
○**協定期間**：令和6年2月20日～令和9年3月31日（3年）
○**主な活動**：里山整備、歩道整備、地域交流事業

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8255　森林活用推進課　緑化推進係まで

木材産業DXアドバイザー派遣事業のご案内

現在、岐阜県では、林業・木材事業者の事務の効率化、生産効率の向上、情報共有を目的に、DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組む事業者を支援しています。
当派遣事業は、DXの取り組みを検討している林業・木材事業者の方を対象に、DXの専門家であるアドバイザー（ITコーディネーター等）が、事業者の事情や状況に応じた支援・助言を行います。「DXに興味があるが何をしたらいいか分からない」「DXに取り組んでいるが、アドバイザーから話を聞きたい」等DXについてお悩みがありましたら、ぜひ本事業の活用をご検討ください。

費　用　無料（アドバイザーの報償費、旅費は県が負担します。）

申込期限　令和7年1月末（予算額に達し次第受付を終了させていただきます。）

●お問い合わせ先：岐阜県林政部県産材流通課加工流通係　058-272-8486（直通）

多発する山地災害への備え

毎年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な山地被害が発生しています。岐阜県においては、昨年８月の台風7号災害により、揖斐地域を中心に多大な被害が発生しました。

このような被害を防止するため、県では、地形や地質から見て山崩れや土石流の危険度が高く、人家や道路へ直接影響が大きい箇所を山地災害危険地区として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害を減らすためには、自分の身は自分で守るという自助や周りの人たちと助け合うという共助の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区や避難所を確認するなど、早めの備えをお願いします。

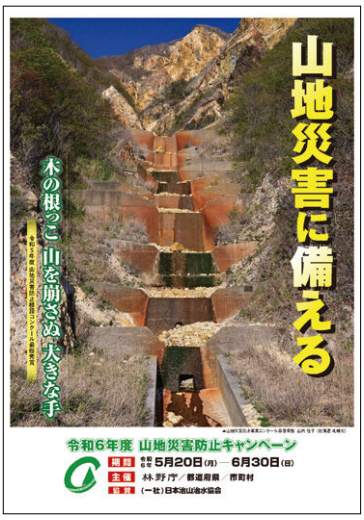
山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。
（https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html　より、「山地災害危険地区」で検索）

令和6年度 山地災害防止標語及び写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン（5月20日～6月30日）の関連行事として、「山地災害防止標語及び写真コンクール」が、一般社団法人 日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も、山地災害防止に係る標語と写真作品を募集しています。（締切9月30日（月）当日消印有効）

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターは、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。多くの方からの応募をお待ちしています。



令和6年度
山地災害防止キャンペーンポスター

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014　東京都千代田区永田町2-4-3　永田町ビル４階
（一社）日本治山治水協会　標語・写真コンクール係
TEL：03-3581-2288、FAX：03-3581-1410

【森林保全課　治山係】

を終えて

岐阜県

森林づくりの〝プロデューサー〟たれ

河合高志
（派遣先　中津川市林業振興課）

「これからの自治体職員は地域づくりの〝プロデューサー〟たれ」これは、自治大学校時代に宮嶋勝先生（東京工業大学名誉教授）から頂いた言葉であり、私の「座右の銘」の一つです。

一昨年の4月、中津川市役所への派遣を命ぜられました。2年間と限られた時間の中、心掛けていたことは、「いつかやりたい」ではなく「いまやる」という意識です。

赴任後、まずは同僚の職員と現場に足を運び、森林の現状を把握することに努めました。一見豊かに見える森林もその多くは手入れ不足で、このまま放置されれば、10年後、中津川のヒノキが用材ではなくチップになってしまう恐れがあることを知りました。要因は様々ですが、その一つが林業の担い手不足が考えられ、それを解決する一手を打てないかと同僚とアイデアを出し合い、議論しましたが、最後は決まって「いつかやりたいね」で終わっていました。そのことを同僚に伝え、「いつかやりたい」ではなく「いまやる」という意識で取り組むことにしました。

産業用無人ヘリによるレーザー計測を活用した森林資源調査、中津川市森林経営管理制度実施方針（案）の策定、森の担い手育成構想の拠点である「ぎふ木遊館サテライト施設」の整備など様々な事業を行いました。これらは、今すぐに成果が表れることではありませんが、担い手対策に向けた一手は打てたと思います。

冒頭の宮嶋勝先生の言葉には、10の仕事をするときに、「8、9の仕事は前例踏襲のやり方で結構」であるが、「1、2の仕事は自分なりの企画を立て、新しい事業展開を模索していくことを心掛けて欲しい」との意味合いが込められています。

例に挙げた事業は同僚が企画を考え、それを一緒に実現まで結びつけてきたものです。「いまやる」意識の浸透が、職員の主体性を育み、企画を提案しやすい環境・雰囲気づくりに繋がったのだと思います。

「森林環境税及び森林環境譲与税」により、今、市町村には森林整備に向けた財源と権限が与えられています。職員一人ひとりが森林づくりの〝プロデューサー〟として取り組めれば、10年先、チップではなく用材として木材が利用される未来になるのではないでしょうか。一方、市町村には林業の専門的な知識や経験を有する職員不足が課題であり、そこを補うのが県の林業普及指導員の役割であり使命であると考えます。

振り返るとあっという間でしたが、この2年間は、これまでの職員生活で最も充実した楽しいものでした。お世話になった方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。

岐阜県　白川町

白川町との人事交流の2年間を振り返って

河方勇一郎
（派遣先　白川町農林課）

白川町と岐阜県の人事交流により、令和4、5年度の2年間、白川町農林課に勤務しました。白川町では新庁舎を建設するため、白川町産材の確保の取り組みがあり、改めて木材を使うことについて学ぶことができました。

新庁舎に使用する木材は、天然乾燥を基本に、含水率が基準を満たさない場合は機械乾燥で仕上げることとし、スギノアカネトラカミキリの穿孔跡があっても強度の基準を満たしていれば使用するなど、何十年かけて育ててきた木を積極的に活用する方針でした。東濃桧の産地として木を大切に使う気持ちが表れていました。また寄付木材を募集し町民の方に協力してもらい、地域と一緒に新庁舎を作る取り組みとなりました。

木材の確保を始めたときは、ウッドショック直後で木材需要が高かったことから、白川町有林で木材を生産することになりました。また、新庁舎の木材調達業務は、東濃ひのき製品流通（協）が受託されました。木材調達の流れは、白川町有林の皆伐等を受託した白川町森林組合が木材を生産し、東濃ヒノキ白川市場（協）で仕分けや原木の保管などし、東濃ひのき製品流通（協）で材質の確認や本数管理を行い、町内の製材事業者が製材し、天然乾燥場所に納品することになり、それぞれの役割と連携の重要性が身に沁みました。当初は多少の曲がりがある木でも太ければ必要な寸法の製材ができると安易に考えていましたが、曲がった木やアテのある木は製材後に曲がりやすいことなどを教えていただき、予想以上に木材の本数が確保できず、利用間伐計画を皆伐に変更、採材寸法等の変更や、曲がり材の許容範囲の確認など、関係者の皆さんの協力を得て予定本数を確保することができました。木材の用途が決まった木材生産に取り組めたことは貴重な機会になり、これから建設される白川新庁舎の完成が楽しみになりました。

また、農林課に勤務して、通常業務や地域の課題などに取り組む中で、森林所有者や林業関係者からの問合せなどや、町民の方から危険木や鳥獣害など幅広い相談が多くありました。職員のみなさんは、地域の人や状況に大変詳しく、課内で何か対応できないか検討し、関係課と協議や県に相談する姿を見てきました。人事交流を終え県に戻り、林務関係に長く携わってきたことを活かし、お互い相談しやすい関係を大切にして、業務に取り組んでいきたいです。

最後に、2年間一緒に働くことができた白川町職員の皆様や関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

白川町からは令和6年度も研修生（2年目）として派遣が継続されています。

交流派遣

中津川市

3年間の派遣を終えて

田口雄大
（派遣先　県林政部森林活用推進課）

2021年度の4月から3年間、林政部でお世話になりました。初年度は林政課において森林環境譲与税と市町村森林整備計画にかかる業務、2・3年度目は森林活用推進課において、前記の譲与税や森林経営管理制度、地域林政アドバイザーといった市町村林務行政支援に関する業務を主に担当しながら、温室効果ガスの森林吸収源対策（G－クレジット制度の創設）等にも関わらせていただきました。

派遣前、林務の経験がなかったため、派遣の打診を受けた当初は大変不安に感じたことをよく覚えています。そのような自分に対しても、県職員の皆様には森林・林業にかかる基礎的な知識から丁寧に教えていただき、3年間を経た今は、決して十分とは言えないまでも当初と比べれば大きく成長できたのではないかと思っています。

この間、市町村の林務担当者の皆様との情報交換、あるいは令和3年度に設置した地域森林管理支援センターの運営などに関わるなかで、森林・林業ではどの市町村にも共通して直面している課題があることも学びました。その主なものは、①林業の担い手不足、②森林の所有者不明や境界の不明確、③樹種や林齢、材積といった森林資源情報の精度、そして④森林・林業という非常に専門性の高い分野において、定期異動により数年単位で入れ替わる市町村行政に携わる職員の知識・経験をいかに蓄積するかということです。

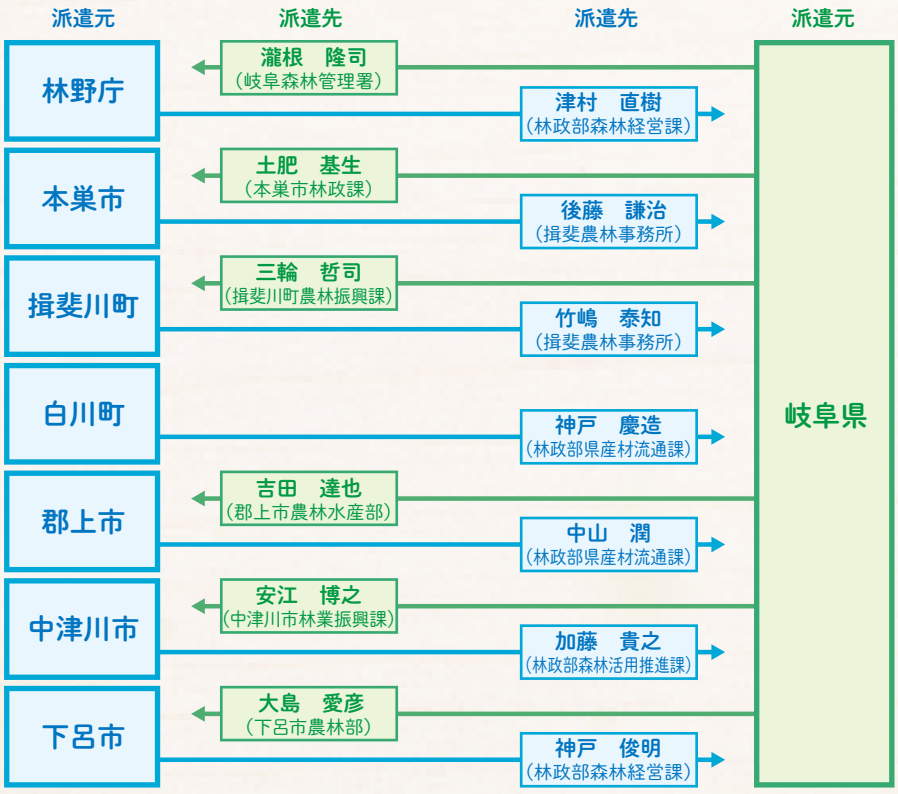
今年度から市林業振興課の一職員として、中津川市というフィールドで3年間培った知識・経験を活かそうと尽力していますが、やはり現場では日々問題に直面することもあり、まだまだ力不足だと感じることばかりです。

その一方で派遣期間に得た県職員の方々、または同じく交流人事で県へ派遣されていた市町村等の職員との繋がりは、今後仕事に取り組むにあたっての大きな財産だと実感しています。

思い返せば、自分が自治体職員を志した原点は、中学生の頃に経験した平成の大合併でした。当時自分が暮らしていた中山間地域の町が周辺の市町村と共に一つの大きな市となったとき、「自分の町の色が失われてしまうのではないか」という不安と「どうしたら今ある地域を元気なまま維持できるのだろう」と漠然とした疑問を持ったことを今でも覚えています。

3年間の派遣期間で、森林率8割の中津川市において、森林・林業行政に携わることは、当時抱いた疑問に解を与える重要なカギの一つとなるのではないかと感じています。それを確信に変えるためにはまだまだ知識も経験も足りませんが、一歩ずつ前に進めるようこれからも邁進してまいりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度も7組の交流派遣が継続



5月号からシリーズで掲載しました「交流派遣を終えて」に投稿していただきました11名の皆様には大変ご苦労様でした。また執筆ありがとうございました。

皆様の感想に共通していることは、違う行政機関や別の仕事をしたことで改めて気付いた発見や反省点。特に連携の大切さでしょうか。

人口減少下、持続可能な行政サービスの提供において、専門知識・技術の習得だけでなく、連携や協働の視点からも交流派遣の意義は大きいものと考えます。

令和6年度も計13人の方が派遣先で頑張っておられます。皆様、終了の折にはぜひ投稿お願いします。

（編集担当）



早野さん

揖斐地域の新しい仲間の紹介

揖斐郡森林組合
早野（はやの）　翔大（しょうた）さん

今回は、他業種から「揖斐郡森林組合」に昨年5月に入社し、即戦力として活躍している早野翔大さん（29歳）を紹介します。

林業に携わることになったきっかけは？

これまで数か所で工場勤務を続けてきましたが、自然が好きで山にも興味があったこともあり、森林組合の求人に応募しました。

入職する前の森林組合のイメージは？

役所のようないわゆる「お堅い」イメージでしたが、実際に働いてみると、とてもアットホームな雰囲気で、何でも気軽に相談することができる本当に働きやすい職場です。

日頃の業務内容は？

県環境税事業の環境保全林整備事業が主たる担当業務で、関係書類の作成、事業地の森林所有者の方の同意のとりつけ、山の測量、施行状況写真の撮影が主な業務内容です。就職して約1年が経過し、仕事の流れが分かるようになりました。



仕事で驚いたことは？

就職した初日に、山の中の道なき道を歩いたことです。結構な斜面でしたので、恐る恐る歩いたことを覚えています。今では、その時の経験のおかげで、どんな斜面でも平常心で歩くことができるようになりました。

仕事の面白みは？

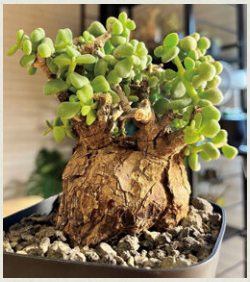
工場での仕事は毎日同じことを機械的にこなしていましたが、森林組合での仕事は業務内容が多岐に渡り、とてもやりがいがあります。森林所有者の方から森林の管理を快くお願いされた時や、「大変だけど、頑張ってね」などとお声がけいただけた時は本当にうれしいですね。

また、工場で勤務していた時は土曜日も出勤しなくてはいけませんでしたが、今は土・日曜日しっかり休めるので、プライベートも充実しています。

プライベートでの趣味は？

アガベなどの多肉植物やパキポディウムグラキリスなどの塊根植物を育てるのが趣味です。森林組合に就職する前からの趣味で、育て方によって唯一無二の植物になるのが魅力です。

今では、種から育てたものを、森林組合の同僚に無理矢理配っています（笑）。個人的な思いですが、毎年開催される地元の夏祭りの際に、森林組合が例年販売しているカブトムシと一緒にアガベなどを出品できたらなと思っています。


唯一無二のケラリア
ピグマエア

林業の魅力について一言お願いします。

草木や花、動物など様々な生物が身近にあり、都市部では感じることのできない魅力があります。また、様々な方と接する機会があり、色々な経験が得られます。自然が好きな方に是非ともお勧めしたい仕事です。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0585−23−1111（内線442）
揖斐農林事務所　林業課　森林整備係まで

令和6年度 清流の国ぎふ

親子環境学習 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー 夏コース

岐阜県では、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーを実施しています。ぜひご参加ください。

【令和6年度ツアー】

実施日	コース名	対象年齢	主な行先	予定参加費/人
7/20（土）	デコ活ってなに？ ゲームで楽しく学ぶ地球温暖化と樽見鉄道運転体験	小学1年生以上	大垣市 本巣市	大人 3,070円 小人 7,070円
7/21（日）	可児川で水生生物観察会と アクア・トトぎふ＆自然発見館でなぞとき探検！	小学1年生以上	可児市 各務原市	大　人 5,310円 中学生 5,000円 小学生 4,600円
7/27（土）	お魚博士から学ぶ「絶滅危惧種ハリヨ」の不思議な世界♪＆ アクア・トトぎふで夜の水族館見学	小学3年生以上	大垣市 各務原市	大　人 6,430円 中学生 5,620円 小学生 5,220円
8/3（土）	干潟に行ってみよう♪ 藤前干潟クリーンアップ活動と名古屋港水族館見学	小学1年生以上	愛知県 名古屋市	大人 5,040円 小人 4,020円
8/24（土）	海洋ゴミから学ぶ SDGs ！ 南知多ビーチランドバックヤード見学とビーチクリーン活動	小学1年生以上	愛知県 南知多町	大人 5,190円 小人 4,080円
8/25（日）	「はざこ探検」って何だろう？！ 生き物博士と探す「国の特別天然記念物オオサンショウウオ」	小学1年生以上	郡上市	大人 6,330円 小人 6,330円
8/31（土）	横山ダム堤内見学と徳山湖でＥボート体験	小学1年生以上	揖斐川町	大人 2,860円 小人 2,860円
9/7（土）	鮎のつかみ取り体験と長良川で水生生物観察会	小学1年生以上	郡上市	大人 5,830円 小人 3,530円

※参加対象者は、岐阜県内にお住まいの小・中学生と同伴の保護者(18歳以上の方)です。
　お子様のみのご参加はできません。必ず保護者同伴でお申し込みください。
　食物アレルギーがある場合は、申込時にご連絡ください。
※6月21日（金）12時から募集を開始しており、先着順のため、受付を終了している場合があります。
※悪天候などにより、行程を変更・中止する場合があります。



水生生物観察(可児川)



鮎の串うち体験(郡上市)

ツアーの参加申し込みはWEBのみ（先着順）
右記2次元コードよりお申し込みください。

こちらの記事は募集記事ではございません。

ツアーのお問い合わせは　（株）日本旅行　岐阜支店
TEL058-265-7501（月～金　13:00～17:00）（土日祝休業）



清流ミナモ

●その他のお問い合わせは TEL 058-272-1111 内線2932 岐阜県環境生活政策課環境教育係まで

山の歳時記 227

YAMA NO SAIJIKI

キハダⅠ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「キハダの樹皮はいつ剥ぐのですか」初夏のある日、森林文化アカデミーの学生に聞かれました。

キハダ（Phellodendron amurense）はミカン科キハダ属の落葉高木です。樹皮が分厚いコルク質の外樹皮と、鮮黄色で厚い内樹皮からできており、この内樹皮の色あいから黄色い肌を意味する「キハダ」と名づけられました。同じように、属名のPhellodendronはコルクを示すphellosと、樹木を指すdendronの造語で、厚いコルク質の樹皮を表しています。種小名のamurenseはアムール地方を意味します。同じように英名もamur cork-treeと、樹皮のコルク層が名前のポイントになっています。

キハダの内樹皮は生薬で「黄檗または黄柏」と記され、鮮やかな黄色成分は苦味質のアルカロイドやベルベリン、パルマチンです。

このキハダが注目されたのはスモン病です。1955年頃から病兆が見られ、1968年ごろに多量発病した整腸剤キノホルムによるスモン病に対して、キハダベルベリンが腸内の殺菌作用と下痢止め効果に有効と注目され、当時は近畿地方で多くのキハダが伐採されたそうです。

キハダのベルベリン含量は一定ではなく、若い個体よりも老齢な個体が多く、寒い地方の個体よりも暖かい地方の個体が多く、色の薄い内樹皮よりも濃い内樹皮が多く含有しています。

ところで「日本の古代色」に黄檗色（きはだいろ）があるように、昔から鮮やかな黄色染料以外にも、赤色や緑色の下染めに利用されてきました。特に、紅花染めでは鮮紅色を引き立たせるための下染めに必須の染料でした。また黄檗染めは数少ない塩基性の染料であることから、酸性でないとうまく染色できず、キハダの下染め後は速やかに洗浄する必要があります。

着物の色で階級を区別した中国では、黄檗色は最上位の階層を示す色合いとされ、日本に持ち込んだ経文の一部も虫に食べられないよう黄檗染めしたものに写経されていました。

キハダを染料とする手法は中国大陸から渡来したとされ、和紙を黄檗で染めたものは、石清水八幡宮や春日神社の宣命用紙に用いられていました。

最後に、内樹皮を採取するには7月ごろが良く、根から大量の水分を吸いあげ、枝葉に送られる時期は、樹皮を剥がし易いだけでなく、厚いコルクの外樹皮と鮮黄色の内樹皮も簡単に分離できます。

一般的には地上部の成長が旺盛な6月中旬～8月10日頃までが樹皮剥ぎの適期とされ、この時期以外は外樹皮と内樹皮の分離も難しく、黄檗の商品価値は下がります。次回につづく。



鮮黄色なキハダの内皮



山のおじゃまむし

―私の好きなゆなちゃん―【第396回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

令和６年５月12日。この日は私にとって忘れることのできない日となった。孫のゆなちゃんが「おじーいちゃん。プレゼント」といって色紙をさしだした。そこには「おじいちゃんへおじいちゃんおたんじょう日おめでとう。これからも虫の標本とかいっぱいみせてね。ゆなより」と書いてあった。そしてそのまわりには自分でつくった虫の折り紙が４つはってあった。トンボの親子、セミ、バッタだという。このやさしい心。胸が熱くなった。ゆなちゃんは小学５年生。我が家の孫３人の１番下。よくいじめられる。この繰り返しでたくましくなった。めったに泣くことはない。それどころか向かっていく。私はゆなちゃんが大好きだ。それは「おじいちゃん、虫見せて」といって私の部屋へくるからだ。見るのはカブトムシ、クワガタムシ、バッタ、トンボ、チョウなどの大きなもの。これらの昆虫についていろいろ聞いてくる。その中で気に入ったものがあれば色紙で作り私にプレゼントしてくれる。「ありがとう」とお礼をいうとうれしそうな顔。私もうれしくなってしまう。その贈り物が壁や机の上に置いてある。こういう時があと何年あるか。「時間よとまれ」と思ってしまう。

×　×　×　×

たまたまこの日は家族全員で食事に行く日だった。メニューはいろいろあって食べ放題。子供たちのお気に入りの店だ。しかも安いので今までに何回も出かけている。ところがこの日は超満員。予約してなかったので３時間後になるという。「今日は止めにしよう」と母親が言ったら子供たちは「いやだ」と大きな声。遅くなっても待つときかないので近くの回転寿司に変更することにした。母親は高価になるからと渋っていたが、ここも満員。それでも 30 分後に席に着けた。寿司が次々と回ってくる。子供たちは「おいしい、おいしい」と言って食べる。いい笑顔だ。それより嬉しかったのは私だ。肉料理より寿司が好きだからだ。それと冷の日本酒が美味しかった。いつも熱燗ばかり飲んでいるので、格別の味がした。回転寿司の方がいいなと思った。ところが母親はいつもの店の方がはるかに安い。ここへはたまに来るだけ。この一声だった。

×　×　×　×

ある日女房が「ゆなちゃんて心の優しい子だね」といった。暑い日中に草を取っていたら「おばあちゃん今は暑いから涼しい夕方にするといいよ」と言ったという。普通に出てくるこの優しい言葉。私もこのようなことを何回か感じたことがある。上の兄弟とは大違いだと思ってしまう。いつまでも心にしまっておきたい。ところが我が家の子供たちに私の虫でないことが話題になることが起きた。２女のゆいちゃん（高校１年）が走ることが全学年で一番速かったのである。しかもビデオで見るとずば抜けて速いのである。このビデオを家族で何回見ただろう。ゆいちゃんは陸上競技の選手になりたいそうだが、さてどうなることやら。

×　×　×　×

長男の佑真君は小学生のころからバスケットに夢中である。父親が会社のバスケットの選手だからである。佑真君は休日のほとんどは試合に出かけていく。選手ではないのに「何が楽しい」と聞くと、ただ笑っているだけ。孫たちが出かける試合は親も現地まで行かなければならない。これが大変だ。知人と調整したり、時には父親が会社を休んだりしている。この現実を目にすると、自分の時はこんな苦労はなかったので、「よかったなー」と思ってしまう。そのおかげでこれだけたくさんの標本が集まったのだと、またまた思ってしまう。

×　×　×　×

ゆいちゃんは母親と学校などの競技場へ出かけるので、ゆなちゃんも一緒についていく。しかし、脚力は全然ダメ。母親はゆなちゃんも陸上競技と考えているかもしれないがこれは無理。何がいいか。私なりに考えてみることにした。月日の経つのは早い。あっという間に過ぎていくだろう。今のゆなちゃんは可愛い。このまま大きくならないでほしい。こんなことを思うことがある。

ある日、こんな夢を見た。ゆなちゃんが大きくなりある男性と知り合った。その男性は虫好き青年。しかも私の標本を管理させてほしいという。その青年は標本を整理して「野平昆虫標本館」とした。当日は今まで世話になった関係者が多数集まった。もし、こうなればゆいちゃんは、これはゆなちゃんが考えたのだと思うであろう。ここで目が覚めた。本号ではこのあと続きを書いて完成させようと考えていたが、「森林のたより」編集者から電話がかかり、今日の３時までに原稿をだしてほしいとの催促。それで今回はここでストップとさせていただく。

しばらくするとゆなちゃんの「ただいま」という元気いい声が聞こえてくる時間だ。「おかえり」と迎えるつもりだ。しかし、すぐに友達と遊びに行くので話す時間はない。夜にゆっくり話そうね。今回は書く予定だったシナリオとは違ってしまったが、ごめんなさい。これからは気をつけます。今回の原稿をかいているうちに、高齢なので時間の管理をしっかりしなければと痛感した。



ぎふ木遊館通信

令和6年度「ぎふ木育サポーター養成講座」第1回を開催しました！

ぎふ木遊館では、ぎふ木育に関する座学も行いながら、木のおもちゃや遊びを通したコミュニケーションやホスピタリティ等について体験を通して楽しく学んでいただく「ぎふ木育サポーター養成講座」を開催しています。



今年度1回目の講座を、令和6年5月19日（日）にぎふ木遊館で開催しました。今回は、高校生から大人の方まで5名に受講いただきました。

ぎふ木遊館の役割のひとつが、木にふれあい、木や森に親しんでいただくことであることから、実際にさまざまな木のおもちゃに触れて遊んでみる体験を行いました。その一つが、木育ひろばの清流プールの中にある「木玉」の観察です。木玉は、7 種類の木材から作られており、樹種ごとに色や重さ、手触りが異なります。受講者は五感を使ってじっくりと観察し、樹種の見分けにチャレンジしていました。

次に、様々な形の木のレーンにより木の球を転がすコースが作れる「つみぼぼバーン」を使い、2、3人のグループでコース作りを行いました。初めは遠慮気味に作り始めた受講者たちも、徐々に活発にアイデアを出し合い、何度もボールを転がしては、その様子に歓声を上げていました。木のおもちゃが子どもだけでなく大人も楽しめること、人との協力によって新しいアイデアが生まれることを学んでいただけたと思います。

最後に、木育ひろばでボランティア体験をしていただき、つみぼぼバーンで子どもと一緒にコースを作る方や、小さいお子さんをもつ親さんとコマ回しをされる方等がいらっしゃいました。お客様との関わりを通じて、ぎふ木育サポーターとしての活動を体感していただきました。

講座を終えた受講者からは、「ぎふ木育があらゆる世代の人に向けたものだと学んだ」「改めて人と関わる楽しさや面白さを感じることができた」といった感想をいただきました。







＜今後のスケジュール＞

7月10日（水）	会場：ぎふ木遊館サテライト施設（中津川市）
8月31日（土）	会場：ぎふ木遊館
10月 5日（土）	会場：ぎふ木遊館
12月 7日（土）	会場：ぎふ木遊館

※このほかに、秋頃に高山市でも開催予定です。

本講座を受講し、ぎふ木育サポーターに登録すると、ぎふ木遊館等の木育拠点や木育イベントでボランティアスタッフとしてもご活躍いただけます。木のおもちゃや遊びに興味のある方、人と接することが好きな方はぜひお申込みください。

↑詳しくは、ぎふ木遊館HP「お知らせ」をご覧ください♪

やがてみんなの森になる

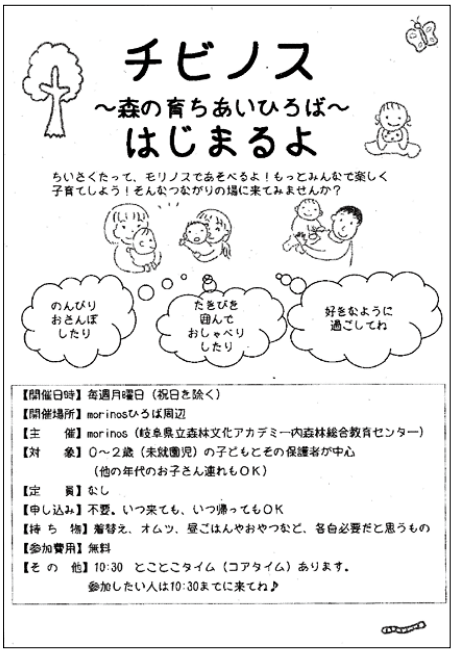
morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称ｍｏｒｉｎｏｓ）で実施しているプログラムについてご紹介します！

<チビノス～森の育ちあいひろば～>

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。今回ご紹介するのは、「チビノス～森の育ちあいひろば～」です。



今年度の5月から始まったこのプログラム。『平日のmorinosで親子が森や人と繋がりを持てる場を作りたい』という願いを込めて、毎週月曜日に開催しています。

10：30からは、スタッフと一緒に近くのフィールドで自然遊びをする「とことこタイム」があります。何をするかは当日のお楽しみです。その日来ている子の年齢や発達、興味によって変わる「とことこタイム」。参加したい方は、10:30までにmorinosへお越しください。他の親子やスタッフと交流しているうちに、自然についてちょっとだけ詳しくなれるかもしれません。

また、「とことこタイム」に参加せずとも、morinosには五感を刺激するものがたくさんあります。芝生の上で寝転がるだけでも、あったかい・冷たい・芝の感触・砂の感触・風の感覚・快・不快…などなど。常に変化する自然の中で心と身体を動かすことが子ども達の心と身体の成長に繋がります。





「出かけたいけど、どこに行けばいいか分からない」、「自然の中で遊ばせたいけど、どう遊ばせたらいいか分からない」という方。そういった方は、ぜひ1度参加してみてほしいです。0歳～2歳児の親子を中心に、自然に親しみながらいろんな人とも繋がりませんか？もちろん、他の年代の方の参加も歓迎します。

チビノスに来てみたら初めて会う人とも友達になれるかもしれません。自分の子どもも、他人の子どもも、みんなで見守ってワイワイ盛り上がりましょう。森の中でボーっとしてみたり、たき火をみんなで囲んだり。子どもの様子や遊びだけでなく、時には悩みのシェアもする中で、ほんの少しでもみなさんの心が軽くなったらうれしいです。

チビノスは祝日を除く毎週月曜日に開催しています。お申込みは不要です。午前中だけだったり、お弁当やおやつを持って1日居たり。いつ来ても、いつ帰ってもOKです。興味のある方は、1度月曜日にmorinosに来てみてください。



morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ　https://morinos.net
YouTube　検索「morinosチャンネル」
開館時間　10:00～16:00
定休日　毎週火･水曜日

morinosHP
YouTube「morinosチャンネル」

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

3

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業

教育・福祉関連施設に、岐阜県産材で製作された机や椅子等を導入することに対して、支援を行う事業です。

■令和６年度　事業概要

（１）対象事業者：市町村、学校法人、社会福祉法人等
（２）対象備品　：机、椅子、教卓、ロッカー、下駄箱、幼児用ベッド等
（３）補助金額　：導入に要した経費の１／２以内の額　（ただし、机・椅子は、１セットあたり上限１８千円）

■令和６年度　支援予定団体

（令和6年4月時点）

事業主体	施設名称	所在地	導入予定製品
学校法人小島学園	ひよし幼稚園	各務原市	下足箱、絵本棚
社会福祉法人八実会	認定こども園石山保育園	海津市	本棚
関市	市内中学校　他	関市	机（天板）
郡上市	市内小学校	郡上市	机（天板）
美濃加茂市	市内小学校	美濃加茂市	机（天板）
富加町	とみかこども園	富加町	机・椅子、収納棚
土岐市	市内小学校	土岐市	机（天板）
中津川市	中津川市ひと・まちテラス	中津川市	積み木　ウッドレール
高山市	市内小中学校	高山市	机・椅子セット

■令和５年度　導入事例



いわのだこどもの森
（岐阜市）



福岡小学校
（中津川市）



下羽栗小学校
（笠松町）

【利用者の声】

・一つずつ違う模様や、自分の机に天板をつける活動にも子ども達は興味を示していた。
・地域の木材を導入したため、地域に誇りを持てるようになった。
・木の種類によって重さや匂いが違うことを学び、木に対する興味がわいた。

【県産材流通課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487　県産材流通課木造建築推進室消費対策係まで

森林と人を活かす知恵 138

地域材の可能性を広げる、新しい製材、乾燥、利用モデルの提案

岐阜県立森林文化アカデミー　講師●渡辺　圭

森林文化アカデミーには自力建設という木造建築専攻の学生が入学してすぐに設計、施工し約一年をかけて学内の木造建築物を完成させる授業があります。様々な要素を計画に組み入れる必要があり、試行錯誤しながら自らが作り上げていく自力建設は、大変ながらもたくさんの学びの詰まった素晴らしい授業だと思います。（写真1）

どうして木工教員である私が自力建設の話をしているかというと、今年度のテーマが広葉樹の小規模簡易乾燥庫で、想定施主が私になっているからです。

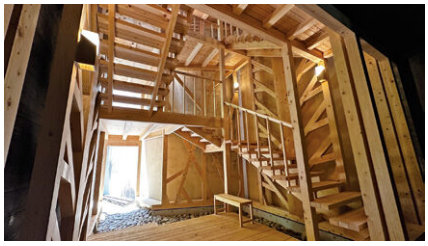


写真1　昨年度自力建設課題のほとりの櫓



写真2　学内に設置されている簡易製材機



写真3　学内に設置されているビニールハウス乾燥庫



写真4
学内で伐採されたカツラで製作した講義室の机

アカデミー木工専攻では小規模な地域材の製材、乾燥、利用のモデルを提案していきたいと考えています。近年、外国産材の価格の高騰や環境意識の高まりなどで国産広葉樹の需要は増えていますが、木材の産地ではない地域では、製材、乾燥設備が課題となります。製材に関しては、簡易製材機（写真2）やチェンソー製材で小規模な需要には対応できますが、広葉樹を人工乾燥させようと思うと、重油やチップボイラーなどで加温し、湿度も制御する設備が必要で、個人工房などで簡単に導入できるものではありませんでした。

そこで日当たりの良い土地さえ確保できれば導入がしやすい小規模な乾燥設備ができないかと、2022年木工専攻卒業の渡邉聡夫さんが課題研究でビニールハウスの木材乾燥庫に取り組みました。基本的には太陽光のみで運用するこの乾燥庫は梅雨前の時期に製材した材を入れておくと、秋口には含水率を10％弱まで下げることができます。（写真3）

材の狂いや割れなどをコントロールすることは難しいので乾燥材を商業的に販売するために乾燥させるといったニーズには向かないのですが、小規模木工所が地域の材を使う用途などには十分な性能です。これまでも学内や演習林で伐採された広葉樹などを簡易製材機で板にして、このビニールハウス乾燥庫で乾燥させ、学内の備品などを製作してきました。（写真4）十分に使える設備なのですが、メンテナンス性や使い勝手の部分でアップデートをしたいと考えていたところ、今年度の自力建設のテーマとして選んでいただきました。

地域材の利用は国内の様々な地域で取り組まれており、これまで使われてこなかった材の活用は進んでいます。また都市部でも公園の木や街路樹が大きく育っていてそれらを使っていこうという流れも生まれてきています。今回提案してもらう広葉樹の乾燥庫の課題文には、アカデミーだけでしかできないものではなく様々な地域でも再現できるもの、普及モデルとなるものが好ましいと入れてもらい、こういった全国での取り組みを後押しできるものになればと考えています。

さらに利用に関してもコンピューター制御で加工のできるCNCルーターの導入もアカデミー木工専攻で検討しており、これまでの木工技術でのものづくりに加えて、デジタルなものづくりで利用の幅を広げていけたらと思っています。自力建設のテーマの広葉樹の簡易乾燥庫については講評会が2024年5月28日に予定されています。この文章の執筆時点ではまだ発表されていませんが、どんな案が出てくるかとても楽しみです。このように製材、乾燥、利用のモデルを提案していくことが、日本各地で地域材利用に取り組む事例の増加に繋がることを願っています。

●詳しい内容を知りたい方は　TEL（0575）35-2525　県立森林文化アカデミー　まで

木の香る
ぎふの施設
136

木造化

TAKUMI×COWCOW

高山市西之一色町3丁目695番地6



施設全景

施設の概要

事業年度	令和5年度
事業主体	株式会社グッドプラス
構造 延床面積	木造2階建て 177㎡
施設用途	建築士事務所、ヨーグルト製造販売、喫茶店、 観葉植物販売
木材使用量 使用樹種	県産材使用量　23㎥ 主な使用樹種　スギ、ヒノキ
全体事業費	29,272千円
助 成 額	10,462千円 (ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設 計 者	株式会社グッドプラス
施工業者	株式会社グッドプラス
工　　期	令和5年9月26日から令和6年2月6日



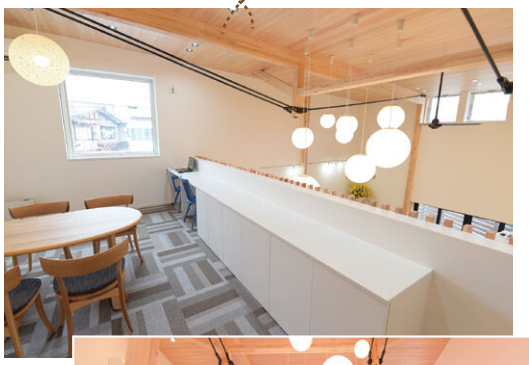


岐阜県産の木を使用した家具

施設の経緯

株式会社グッドプラスでは、別々の場所にあった建築士事務所とヨーグルト販売店を同じ場所に併設するために、木造2階建ての事務所兼店舗を新築しました。この店舗における新たな事業として、喫茶店や観葉植物の販売も開始し、地域から親しまれるお店となっています。

ハイブリッドトラス構法による吹き抜け





広々とした店内

ここに注目！！

ハイブリッドトラス構法による吹き抜けが入口から広々とした空間を作り出しています。

岐阜県産の木は柱や梁などに加えて、机や椅子などの家具にも使用されており温かみのある雰囲気となっています。

利用者の様子

ぎふの木に囲まれた空間で、地元の味や木の質感を楽しまれています。

■問い合わせ先
株式会社　グッドプラス
TEL 0577-70-1414

ドローンで忌避剤散布はできるのか？

森林研究所●宇敷 京介

ドローンで忌避剤を散布する

ドローンは、空撮や測量、農薬散布など様々な分野で活用されています。林業分野でも、労働強度の低減や作業の効率化に向け、苗木や資材を運搬する取り組みが進められています。現在、再造林では、獣害対策はほぼ必須にも関わらず、各種対策の労働強度は非常に高いと言えます。今回はドローンで忌避剤を散布する試験を行いましたので、ご紹介させていただきます。



図.1 試験に用いたドローン

見えてきた課題

ドローンは10ℓタンクを搭載した農薬散布ドローン（図・1）を用いました。まずは、平地に1.8ｍ間隔で並べた苗木に対して、ドローンについているカメラで苗木を目視し、1本ずつ散布をしていきました（図・2）。試験は、高さ2ｍから1秒当たりの噴霧量8㎖で6秒間と6㎖で8秒間（薬液の使用量に準じて1本あたり約50㎖になるように調整）で散布しました。苗木の梢端、主軸に感水試験紙をとりつけ（図・3）、その変色の度合いから忌避剤の付着を評価しました（図・4）。



図.2 平地での散布試験

その結果、両条件とも、主軸で約7割の苗木に付着していました。一方で、梢端では、約3割の苗木にしか付着していませんでした。また、傾斜地でも同様の条件で散布を試しましたが、平地よりも散布できませんでした。



図.3 感水試験紙
水の付着で青く変色する。
変色の度合いで
かかり具合を評価した。

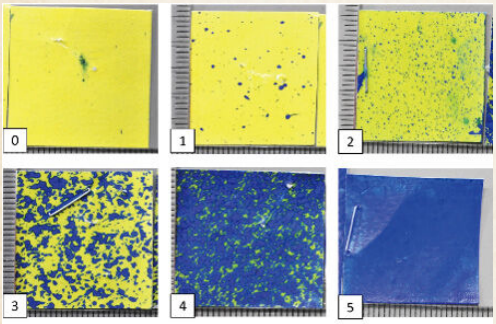


図.4 感水試験紙による評価
0～5の6段階で付着を評価
手散布では5のようになる
3～5になった場合を付着したと判断した

本試験からドローンで忌避剤を散布するうえで、いくつかの課題が見えてきました。まず、ドローンや散布される霧状の忌避剤が風に煽られ流されることです。それに伴い、散布の精度は苗木ごとに異なっていました。加えて、苗木の梢端も風に煽られ揺れやすく、忌避剤の付着の程度に影響したと考えられます。次に、苗木の位置の特定や1・8ｍの苗木間の移動に時間を要することです。

ドローンで忌避剤を散布するために

現状、ドローンによる忌避剤の散布は、おおきく3つの課題により、手散布より精度が低く、時間を要する結果となりました。課題を解決し、効果的かつ効率的に散布を実施するためには、風の影響を低減するような散布の技術や苗木の位置を正確に把握する、風速や風向から散布する位置を決定できるような技術が必要となると考えられます。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-2585
森林研究所まで

油圧式集材機って使えるの？

■郡上農林事務所
林業普及指導員　杉田　勇人

はじめに

現在、郡上森林組合では、主に森林作業道など路網を活用した搬出間伐により木材生産を行っています。

しかし、地形や地質、土地所有者の意向などにより、森林作業道等を開設することができず、これまでに植えられ、収穫期を迎えた森林が多くあり、これらの森林から木材生産ができない状況となっています。

今後も継続的に木材生産を行っていくためには、「主伐・再造林」を考えた林業経営が必要であり、このためには、架線を活用した集材について積極的に取り組む時期にきていると判断し、令和２～３年度に、郡上市明宝気良地内でイワフジのタワーヤーダ（TY-U5D）を使った架線集材を実施しました。この結果、携わった作業班から「これは使える！」との手ごたえを得ることができました。

集材機による架線集材

架線の設置撤去、架線集材の経験がある技術者もいますが、令和５年度は、木材生産向上のため郡上森林マネジメント協議会の協力のもと、前田製作所製の油圧式集材機（FY253）を活用し、ＯＪＴ研修を実施しました。

研修の現場は、尾根部に基幹となる林道があり、そこから作業道を開設しても地形等の制約から集材することが難しい谷部のスギ（成長、素性良好）の林分です。

段取りも省力化

架線の設置にあたっては、安全係数等の確認が必要です。従来は手計算で行っており、転記ミス、計算ミス等の恐れ、時間もかかっていましたが、岐阜県立森林文化アカデミーの協力を得て、架線設計ソフト「KPLAN7」を活用することで迅速に設計でき、安全係数が確保できないときも適切な資材に変更することで、安全な架線が設置できます。また、郡上市高精度解析データの地形データを活用することで、事前に現地の状況に近い架線設置計画の検討を行うことが可能となりました。

机上で作成した設計データをもとに、ＧＮＳＳやドローンを活用して





より正確な位置データを把握し、本体設置、架線架設での誤差や、変動を抑えることができ、省力化につながりました。

索張はエンドレスタイラー方式を採用し、森林技術者が森林組合の経験者の指導を受けながら実施しました。架設に時間はかかりましたが、予備架線の設置はドローンを活用することにより大幅に労力の軽減が図られました。

施業地の概要

施業地：郡上市明宝気良田口洞地内
施業地面積：1.66ha
集材方法：皆伐（架線）
搬出材積：813㎥

架線設置概要
支間水平距離：212m
支間高低差：－34・6m
支間傾斜角：－9・27度
索張方式：エンドレスタイラー（3胴）
定格出力：68・4kW（93ps）／2050min-1
ドラム直引力：2500kg

設置・運用開始

前田製作所指導のもと本体の設置、集材機の運用を開始、従来の機械式の集材機ではレバー、クラッチの操作が煩雑で使いこなすためには熟練を要したが、油圧式集材機はインターロック機能があることやラジコンにより操作できるため、初心者でも容易に操作ができ、十分活用できると確信しました。

研修会の開催

以前に岐阜県内で紹介されたときと比べて、郡上管内の林業事業体の主伐（皆伐）・再造林の必要性の気運が高まっているので、「油圧式集材機（前田製作所製）現地研修会」を開催しました。

研修会では、事業概要、現場概要の説明、前田製作所から油圧集材機（FY253）についての説明後、集材状況を見てもらいました。

操作者は、集材機による集材はこの研修現場が初めてで1ヶ月程度の経験を積んだ若手森林技術者です。

参加者からは、「機械式集材機とは違い、初心者でも操作できることはメリット」、「架線の張り方は自分のところと違うところもある」、「素晴らしい機械だが、機械があるだけでは集材はできない、人材を育てることが重要」といった意見がありました。

研修終了後、林業事業体から前田製作所の担当者へ油圧式集材機に関して問い合わせを個別に行っており興味があるようでした。

おわりに

架設は人力に頼る部分が多く、省力化には現状厳しい部分もありますが、今回GNSSやドローンの活用により労力の軽減を図ることができました。設置さえできれば実運行では、高効率の集材が初心者でもでき、今後操作に慣れることにより、より高い労働生産性が期待できます。特に、事業地の面積や、搬出量が多い場合は、集材機の能力が発揮できます。

このため、導入にあたっては主伐・再造林事業地の集約化も重要となりそうです。これから、主伐・再造林を推進していくためには、架線系の機械、技術が不可欠であると改めて感じました。

今後、郡上地域の森林資源を有効に活かすため、各林業事業体の活躍を期待したいと思います。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-67-1111（内線250）
郡上農林事務所まで

森林技術開発・支援センター　きのこ通信 ⑤

きのこ栽培の厄介者・キノコバエ

この原稿は早い夏日が記録されている4月に書いています。記事が掲載されるのは令和6年7月号、蒸し暑い時季真っただ中でしょうか？

梅雨時期になると、岐阜県内で体長2㎜程度の微小なキノコバエ類（以下、「キノコバエ」）が多数発生して、住宅や学校に入り込んでいると言ったニュースを目にします。

これらは、森林の林床・花壇・野積みされた腐葉土などから発生するキノコバエの一種だそうです。

キノコバエは、木粉を利用した培地に水を利用するきのこ栽培の現場でも発生します。始めに触れた家屋に入り込んで不快害虫となるキノコバエは、きのこ栽培には影響を及ぼさない別種です。

きのこ栽培でキノコバエ発生の一番の影響は、出荷時に混入してクレームの原因になることです。

きのこは農薬等を吸収しやすいことから、県では、県内で菌床しいたけ栽培が拡がるのと同時に農薬に頼らないキノコバエの防除技術を研究し、住みかとなる菌床への注水や浸水により幼虫を除去する方法などを生産現場へ普及してきました。（現在も、労務負担が少なく安全な防除方法など、研究を続けています。）


菌床栽培しいたけにとまるクロバネキノコバエ
（岐阜県森林研究所で撮影）

始めに生活環境で大発生するキノコバエについて触れましたが、国の研究機関が調査したところ、岐阜県や静岡県で発生していたキノコバエは新種と判明したそうです（2022年公表）。

生産者が気を配っても、知らないうちに発生する小さな小さなキノコバエ、これを機に研究が進み、防除につながる情報が発見されれば…、と期待しています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー　技術普及係まで

国有林の現場から 93

国有林への入林について

国有林への入林(入山)には、管理経営上の支障等がないか確認を行うため、原則として、入林届の提出等の事前の手続きをお願いしています。

また、入林される方や国有林内で働く職員及び事業者等の安全確保、森林生態系保全等の影響、国有林野事業の実行等に支障が認められる場合等は、入林を制限することもあります。

そのため、入林を希望される方で、下記のフロー図で入林届が必要な場合は、入林予定の国有林を管轄する森林管理署・支署、森林管理事務所に入林届等の提出をお願いします。

なお、多くの国有林野では、森林法や自然公園法等各種法令により行為制限が設けられています。

そのため、各種調査等を目的に入林し、国有林野内の動植物を捕獲・採取したり、国有林野の土地に穴を掘る等の形質変更等を行ったりする場合には、入林手続きとは別に、制限を行う権限を有する機関(都道府県や環境省等)での各種法令に基づく手続きが必要な場合がありますので、入林届提出前に、入林をご希望の国有林を管轄する森林管理署等にご相談ください。

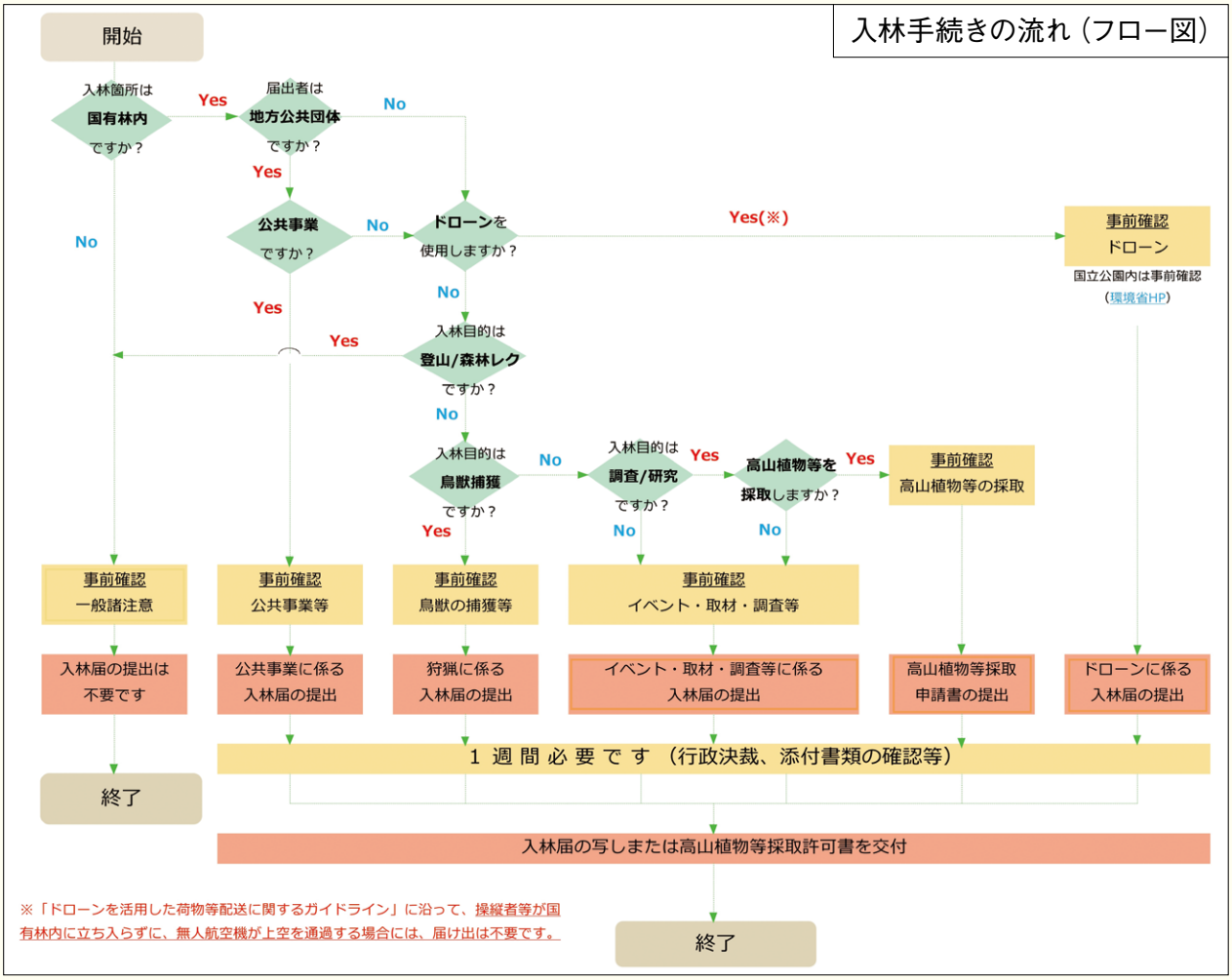
【入林届が不要な場合】

レクリエーションの森、スキー場、野営場、林道(一般車両の通行を禁止している場合を除く)、登山道、歩道、広場、休憩小屋等の施設が設置されている場所に、登山や森林浴など森林レクリエーションを目的で入林される場合

入林手続の詳細(お問合せ・提出先一覧、入林目的別の手続き・様式等)は、中部森林管理局のホームページでご案内しています。「中部森林管理局　入林届」で検索をお願いします。

(岐阜森林管理署)

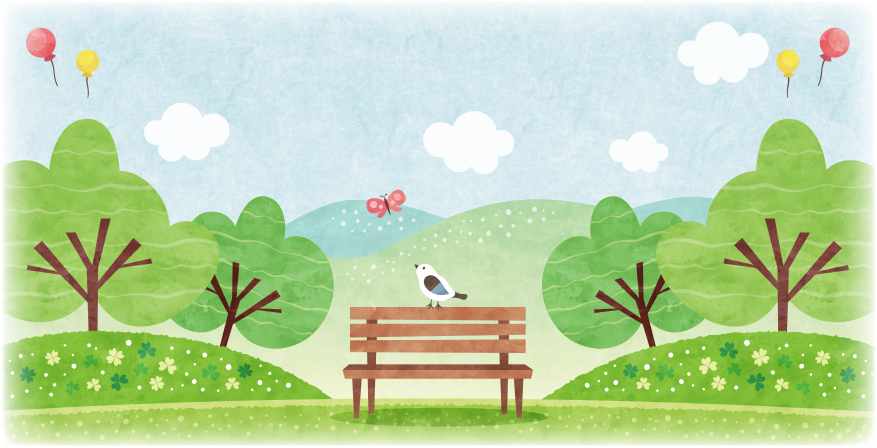
入林手続きの流れ(フロー図)



森林・林業関係イベントカレンダー（7月～9月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
7月10日㈬～ 7月12日㈮	**伐木等の業務(チェーンソー)に係る特別教育**	●講習時間：10日　学 科　8:50～17:10 11日　学･実　8:50～12:00 12日　実 技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定　員：50名(定員になり次第締め切ります。)	10 日（学科） 11 日（学・実） 恵那建設会館（恵那市大井町2087-276） 12 日（実技） 加子母森林組合（中津川市加子母4872-5） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
8月7日㈬～ 8月8日㈭	**木材加工用機械作業主任者技能講習**	●講習時間：7日～8日　8:30～17:40 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定　員：40名(定員になり次第締め切ります。)	ＪＡひだ吉城営農センター （飛騨市古川町上野 571-1） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
9月3日㈫	**刈払機取扱作業者安全衛生教育**	●講習時間：学科　9:20～15:40 実技　15:50～16:50 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定　員：50名(定員になり次第締め切ります。)	南ひだ森林組合（下呂市乗政 25-1） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195



コラム

4月より環境生活政策課に配属され、主に自然公園等の施設の整備を担当することになりました。

私の趣味が登山ということもあり、自然公園施設は普段から目にする機会はあったのですが、自分が担当することになるとは思いもしませんでした。担当者としての目線で自然公園等の施設を見てみると自然公園施設として整備されたものが多々あることに気づくとともに、これまで私が快適に登山を続けてこられたのも過去に整備に携わってきた多くの方のおかげなのだと日々実感しております。

岐阜県内には、2つの国立公園、2つの国定公園、15の県立自然公園があります。それぞれに違った魅力がありますので、皆さまもぜひ自然公園を訪れて自然の景観美を感じてみてください。

「森林のたより編集委員」　環境生活政策課　伊藤　曜仁

イベント情報　8月1日発行

連載
- 山の歳時記（228）
- 山のおじゃまむし（397）

清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵（139）

木と親しむ
- 岐阜県の公共木造建築（137）

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術
- 研究・普及コーナー

市況情報　その他

8月号予定



木材市場

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎥当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1856回 岐阜共販所 6月11日	すぎ	3m	16～18cm	14,600	—	→
		4m	16～18cm	14,000	—	→
			20～22cm	15,000	—	→
			24～28cm	15,000	—	→
			30cm以上	13,000	20,800	→
		6m	16～20cm	18,000	—	→
	ひのき	3m	16～18cm	21,100	—	→
			20cm以上	19,000		→
		4m	16～22cm	21,000	—	→
			24～28cm	19,200	—	→
			30cm以上	18,900	25,000	→
		6m	16～18cm	—	—	→
第1447回 飛騨共販所 6月12日	すぎ	3m	16～22cm	14,500	—	→
		4m	24～28cm	14,800	—	→
			30cm以上	12,000	—	→
	ひのき	3m	16～18cm	21,000	—	↘
		4m	20～22cm	20,300	—	↘
			24～28cm	19,100	—	↘
			30cm以上	19,000	91,000	→
		6m	16～20cm	25,000	—	→
	ひめこ	4m	24～30cm	14,000	—	↘
			30～38cm	16,000		↘
		5m	40cm以上	—	—	↘
	くり	4m	24cm以上	15,000	—	→
第1781回 東濃共販所 6月6日	すぎ	3m	16～22cm	14,300	—	→
		4m	24～28cm	14,800	—	→
			30cm以上元	15,000	23,000	→
	ひのき	3m	16～22cm	20,500	29,000	→
			24～28cm	19,000	—	→
			30cm以上元	25,000	—	→
		4m	13cm以下	10,000	—	→
			24～28cm	19,300	—	→
			30cm以上元	26,000	48,000	→
		6m	18～22cm	29,500	—	→
	まつ	4m	22～28cm梁	—	—	→
			30cm以上元	11,000	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札旺盛で価格は保合。スギラミナ向け3m·4m材は保合。ヒノキ良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は保合。ヒノキ3m·4m構造材も価格は保合で推移。合板向けは、引き続き住宅着工などの伸び悩みにより製品の荷動きが鈍く弱基調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

ヒノキやスギ並材は横ばいで推移。ヒノキ良材は全体的に応札旺盛で特にヒノキ30cm以上が人気。広葉樹良材については引き合いが強い。高値はヒノキ4m×48cm@91,000円、ヒノキ2m×42cm@43,000円、イチイ4m×20cm@131,200円、マクルミ2.1m×34cm@30,800円、サクラ2.2m×38cm@39,000円、ナラ2.1m×30cm@39,000円クリ2.1m×38cm@36,600円。(飛騨)

ヒノキ役物良材には応札多数であるが、当用買い中心で価格は伸び悩み。3m柱向(14cm～26cm)は価格は保合ながら、手堅い売れ行き。4m中目、土台向けも引き合いはあるが保合。スギ中目、尺上、元木良材は、価格保合で推移。目荒等並材は価格伸び悩み売りづらさが残る。4m(24cm以上)の構造材も保合で推移、3mも保合継続。スギ6m長柱向け(18cm～22cm)は各方面から要望があり、造材をご検討下さい。合板向けは弱基調。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (5月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm) 長	巾	高	等級	m³当り価格	(本(枚)単価)	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	↓
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	78,000	(3,440)	↓
	柱	3000	120	120	特等	73,000	(3,154)	↓
		6000	120	120	特等	150,000	(12,960)	→
Wウッド 集成材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場　全てKD材)

外材市況 (5月期)

単位:100円(1㎥当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	428	↓
米栂	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに?～木材用語～

梁(はり)·桁(けた)·母屋(もや)

建物の短辺方向に渡される横架材が「梁」、梁の直交方向(長辺)に渡される部材が「桁」、梁の両端から屋根を構成するよう架けられる斜材が「タルキ」、タルキの交点で屋根の最も高いところに桁と平行に置かれるのが「棟木」、棟木と建物の軒にある軒桁との間に平行に置かれるのが、「母屋」。

(参考)日刊木材新聞社　木材·建材用語辞典